

今週（6月20日から6月24日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期序盤ではあるものの、新型コロナオペの期落ちを控え、地銀業態を中心に調達に慎重な先も見られた。月曜から木曜までのレート水準は、わずかながら低下していく展開となった。金曜日は、週末要因に加え、複数の都銀が調達に動いた事もあり、やや上昇となった。無担保コールO/N加重平均レートは、週を通して▲0.04%台での推移となった。

ターム物は、1W～1M程度の期間で▲0.04～▲0.03%のレンジで出合いが見られた。

日銀当座預金残高は、20日の国債大量償還を受けて560兆円台半ばまで上昇し、その後は560兆円台前半での推移となった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.20～▲0.10%程度の広めのレンジで推移した。

業者勢の在庫は引き続き軽いとみられ、品薄感から一時的に大きくレート低下する局面が見られた。

SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、先週行われた入札がいずれも順調な結果となる中、2年債やレポ市場の利回りが低下基調だったことを受け、全ゾーンで堅調に推移する展開となった。24日に実施された3M物の入札は、強めの結果となった。一部に積極的な応札があったと思われ、平均利回りと按分利回りが大きく開いた。結果発表後のセカンダリーマーケットではしっかりと推移した。

20日に実施された短国買入オペは、前回から4,000億円減額の1,000億円でオファーされ、弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電力・小売り・鉄鋼等の業態から大型発行が見られた一方、四半期末を控え、償還が重なったことで償還超のマーケットとなった。市場残高は、円安や原材料高、長期金利上昇の影響を受け、複数の業態で発行が増加したことから、6月23日時点で27兆8,900億円程度と連日過去最高を更新しており、27日には28兆円に到達する見込みである。発行レートについては、日銀適格担保銘柄は引き続き0%近傍で決着しており、大型案件についても目立った動きは見られなかった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/20 (月)	25,771.22	0.230	135.25	△ 0.044	△ 0.114	5,643,600
6/21 (火)	26,246.31	0.234	135.19	△ 0.046	△ 0.110	5,650,000
6/22 (水)	26,149.55	0.235	136.47	△ 0.047	△ 0.114	5,624,400
6/23 (木)	26,171.25	0.230	135.20	△ 0.047	△ 0.191	5,625,400
6/24 (金)	26,491.97	0.221	135.19	△ 0.040	△ 0.108	5,632,500

来週（6月27日から7月1日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
6/27 (月)	1-3月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 4月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00) 決定会合における主な意見(6月16・17日分 8:50)		5月の米耐久財新規受注
6/28 (火)		2Y 28,000億円 7/1発行	4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 6月の米CB消費者信頼感指数
6/29 (水)	5月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 6月の消費動向調査(内閣府 14:00)		1-3月期の米GDP確報値
6/30 (木)	5月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		5月の米個人所得・消費支出 6月のシカゴPM景況感指数 1-3月期の英GDP確報値
7/1 (金)	6月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 6月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	TB3M 56,000億円 7/4発行	5月の米建設支出 6月のISM 製造業景況指数 6月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/27 (月)	▲ 300	▲ 3,800	▲ 4,100	国債補完 CP買入 社債買入	22,800 ▲ 100	1,000	23,700	19,600	TB3M発行▲56000償還50700
6/28 (火)	▲ 1,000	2,000	1,000	新型コロナオペ	▲ 124,700		▲ 124,700	▲ 123,700	
6/29 (水)	▲ 1,000	3,500	2,500				0	2,500	
6/30 (木)	▲ 700	6,900	6,200	CP買入		4,000	4,000	10,200	地方税等の払い
7/1 (金)	▲ 1,000	▲ 22,000	▲ 23,000				0	▲ 23,000	2Y発行▲28000償還16400 期日前税揚げ
週間合計	▲ 4,000	▲ 13,400	▲ 17,400	—	▲ 102,000	5,000	▲ 97,000	▲ 114,400	

6/27は日銀予想、6/28以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、四半期末を控えているものの、大きな影響はないと思われ、引き続き横這い圏での推移が予想される。レボ市場GC O/N物は、▲0.15～▲0.08%程度での推移が予想される。短国市場は、7月1日に3M物の入札実施が予定されている。また、6月28日に実施が予想される短国買入オペのオファー額は、前回同様1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、事業法人の月末発行の動向が注目されるほか、27日に予定されているCP等買入オペのレート動向が注目される。

主要なイベントは、国内では7月1日に4-6月期の日銀短観、海外では29日に1-3月期の米GDP、30日に1-3月期の英GDP、5月の米個人消費支出、7月1日に6月のユーロ圏消費者物価指数速報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入